

提出順	6	発言順	15	令和 6 年 8 月 26 日
				午前・午後 9 時 50 分受領

(4 枚中No. 1)

令和 6 年 8 月 26 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 矢 澤 毅 彦

一 般 質 問 発 言 通 告 書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問時間	30 分
答弁を求める者	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☒ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	市内 JR 駅の交通系 IC カードの利用拡大に関連して		

質問の要旨（具体的に記載してください）

JR 東日本は、来年の2025年春をめどに、大糸線、篠ノ井線を含む県内での Suica(IC カード)の利用可能エリアを拡大する予定である。市内の対象駅は、梓橋、一日市場、中萱、南豊科、豊科、柏矢町、穂高、田沢、明科の各駅。

これまで券売機で紙の切符を買ったり、後精算をしていたわけだが、現金や切符を必要とせず、交通機関を含む様々なシーンでのシームレスな利用が、スマートな生活にもつながる。そのように利便性が向上することでインバウンドや首都圏からの利用者の増加も考えられる。

そこで、以下のことについて伺う。

- 今後、「あづみん」への実装導入は
- 交通系 IC カード利用に関する講習会は開けないか

提出順	6	発言順	15	令和 6 年 8 月 26 日
				午前・午後 9 時 50 分受領

(4 枚中No. 2)

令和 6 年 8 月 26 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 矢 澤 毅 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 () 担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☒ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	新たな温泉振興策「御湯印」		
質問の要旨 (具体的に記載してください)			
寺社仏閣の「御朱印」、城郭の「御城印」、山の「御山印」、船の「御船印」、宿の「御宿印」、鉄道の「鉄印」、酒蔵の「御酒印」、書店の「御書印」、古墳や陵墓の「御墳印」「御陵印」など、多くの「御〇印」が世に登場し、御朱印帖のような専用の冊子とともにブームが続いている。 そんな中、温泉に入ることによって集められる「御湯印」が各地でキャンペーン化している。 御朱印と同じく、回遊性と継続性を持たせられる手段であるし、観光の記念にもなり得る。 安曇野市内の温泉入浴施設でも導入することで、足を運んでいただく一助にならないか。 ●今後の新たな取り組みとして「御湯印」の導入は			

提出順	6	発言順	15	令和 6 年 8 月 26 日
				午前・午後 9 時 50 分受領

(4 枚中No. 3)

令和 6 年 8 月 26 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 矢 澤 毅 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	☒ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☒ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☐ 福祉部 ☐ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☐ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	投票率アップを目指して -新たな取り組みを-		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

近年の安曇野市(市長選)の投票率は、2013年は64.65%、2017年は62.65%、2021年は55.6%となっている。

天候など細かな要因はあるだろうが、年々減少傾向となっている。民意の反映という意味では、投票率は非常に大事な数値だと考える。

選挙の日取りは不明だが、これより令和7年の内には、次期安曇野市長選、市議選があるのに加えて、令和7年7月28日に任期満了を迎える参議院選挙、同年10月30日に任期満了を迎える衆議院選挙、と2つの国政選挙が必ずある。

投票率アップなど、選挙に関連して以下のことを伺う。

- 市長が考える投票率を向上させる意義について
- 前回安曇野市長選・市議選からの取り組み状況は
- 投票記念カードの発行は
- 親子連れ投票キャンペーンの実施は
- 商業施設等への共通投票所開設は

提出順	6	発言順	15	令和 6 年 8 月 26 日
				午前・午後 9 時 50 分受領

(4 枚中No. 4)

令和 6 年 8 月 26 日

(宛先) 安曇野市議会議員 松枝 功

安曇野市議会議員 矢 澤 毅 彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 6 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	☒ 一問一答 ☐ 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	☐ 市 長 ☐ 副市長 ☐ 教育長 ☐ 他 ()		
	担当部長 ☐ 総務部 ☐ 政策部 ☐ 市民生活部 ☒ 福祉部 ☒ 保健医療部 ☐ 農林部 ☐ 商工観光スポーツ部 ☐ 都市建設部 ☐ 危機管理監 ☐ 上下水道部 ☒ 教育部 ☐ 他 ()		
質問事項	発達を見守りながらゆったりと育児が出来る環境へ -吃音を事例に-		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

国立障害者リハビリテーションセンターの森浩一総長らの共同研究チームによる「幼児吃音臨床ガイドライン第1版(2021)」が厚労省のHPで紹介されている。このガイドラインには、「『吃音かな?』と思ったときに相談に行ける場所が周知され、早期に助言を受けて、保護者が安心して子育てできること、あるいは2、3歳の発吃初期の適切な対応が広く啓発され、発達を見守りながらゆったりと育児できる環境が当たり前になることが大切であろう」と記載がある。また、地方議員でつくる「超党派議員ネットワーク」による全国自治体への吃音に関する調査および発表を受けて、病気や障がいの早期発見、相談・助言体制の構築と、理解が促進されるようお願い、本市における吃音への対応体制等について伺うものである。

- 3歳児健診の現状と吃音について
- 問診票のデジタル技術活用に関連して
- 3歳児健康診査で吃音を発見した際の対応
- 吃音の理解促進と児童発達支援センターについて
- 小中学校における吃音への理解促進について